

宇佐には何のメリットもなく 土佐市に禍根を残す

宇佐メガソーラー計画

ご存知ですか

あきらめは禁物 団結すれば止められる
宇佐だけの問題ではありません

場所は塚地坂トンネル南面の東側
土砂災害があったところです



太陽光発電設置場所の入り口
乱開発の爪痕が痛々しい

ここは、2014年の台風の時、689人に避難指示が出される土砂災害があった所。

ゴルフ場計画が頓挫した後、転売した会社が乱開発を繰り返して倒産。これを(株)NEOが購入してメガソーラーを計画しています。適地だから、ではありません。

スキーのジャンプ台のような斜度で
高さは180メートルです



パネルを設置したイメージ写真
左下に見える白い癖は、塚地坂トンネルに入る県道

NEOに「実施経験はあるか、事例はあるか」と尋ねても、答えはありません。

道の山側斜面は泥岩が崩れ落ち
反対側は突き落とした土砂で
切り立っていました

(1.22の現地視察より)

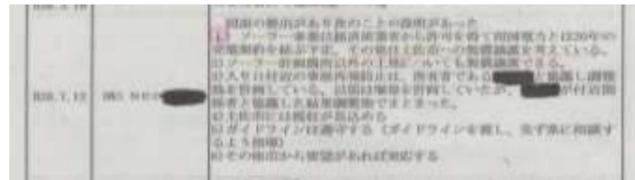


現地はもろい泥岩と硬い砂岩の互層と聞いていたが、この日の視察では、砂岩は見られなかった

太陽光パネルは表層土を剥がして直接設置する計画ですが、少なくとも、この時の視察で見たのはもろい泥岩と赤土層ばかりでした。

説明を下されたNEOの方が、県道の対岸にある避難場所に対して、「あそこに逃げる人は危ないねえ」とつぶやいたことにドキリとしました。じゃあ、ここも危ないのではないの。パネル設置で禿げ山になるし、谷は土砂でいっぱいです。

NEOは20年後も事業を続ける
と言うが できるでしょうか



NEOがH28.7.12に土佐市を訪れた時、20年後は土佐市への無償譲渡を申し出ています。買い取り制度が終わって利益を生まなくれば、いらぬ施設だということでしょう。企業は、収支が整わない事業を、いつまでも続けることはできません。

力を合わせれば 止められます



県が許可を出したのは林地開発で、法的に許可せざるを得ませんでした。簡単に事業を始めることは出来ません。土佐市には条例があるので、事業者はきちんと説明をしなければならぬと県の担当課長。その欠陥法も、改正されようとしています。

NEO 須崎市野見湾より計画撤退

須崎市灰方に設置されているメガソーラーが川を汚染して、白魚(春の風物詩)が遡上しなくなったことなどを踏まえ、住民の理解を得ることができなく撤退しました。NEOは県下で3か所計画していましたが、土佐市だけが残っています。

専門家も見てビックリ

世界中を飛び回って、海底トンネルや高山トンネルを手掛けてきた元大手建設会社に勤めていた近澤孝雄さん。現地を見て、これは危ない、人命を軽視していると、高知新聞「声ひろば」に投稿されました。

「結論として、宇佐の住民を守るため、太陽光発電は中止すべき」だと。



自然は未来へのあずかり物
必要としない乱開発を
許してはなりません
子や孫たちの未来のために
力を合わせ 阻止しましょう!

(このページは、黒木茂議員と共同で作成しました)